

＜コスカシバ＞退治奮戦記

（調査・活動報告）

〔概 況〕：5月29日（火）コスカシバ調査と退治

昭和信金前9：00集合。6人が集まった。今回の集まりの前（5月24日）に、世田谷区公園課による＜スカシバコン＞（コスカシバの増加を阻害するフェロモンの商標）の装着が行われていた。＜スカシバコン＞は、15cm程の細い針金のようなものであるが、実際は細いパイプに溶液が含まれていて、＜フェロモン＞をかもし出す。桜木1本に対して、＜スカシバコン＞が4本装着されている。

今回の活動は、コスカシバ対策の一環で、一連の作業の第2弾となる。コスカシバのヤニは、雨が降った後であれば柔らかくほじくりやすいが、今回は、昨日も今朝も晴天でヤニは石のように固い。千枚通しやきりでは先が折れる。やはり、太いマイナス・ドライバーが一番良いようだ。それでも、手のひらがむけた。最後には、かなづちでたたいた。

ある樹木では、樹皮をはがし、幹に入り込んだところで、大きなコスカシバの幼虫が見つかった。



でも、本当に硬い。この調子だと大変な時間がかかる。人数が足りない、次回またやるか。そう考えていると女性軍から、叱咤激励「まだ始まったばかりよー！！」。沿道の人たちが声をかけてくれる。「虫ですか？大変ですねー。がんばってください」。半分か過ぎた。何とか出来そうだ。……そして、奮戦は12時10分終了した。

〔参加者〕：6名

〔目 的〕：①コスカシバのヤニの数の調査

②コスカシバ退治：見つけたヤニをほじくり、幼虫を見つけ出し、それをつぶす。

〔段取り〕

1. 一人が一本の桜木にあるコスカシバのヤニを数える。
2. 2グループに別れ、ヤニをほじくり、幼虫を見つけ、それをつぶす。
3. 見つけられない幼虫への溶液散布：ほじくりかえした木の傷に＜園芸用 キンチョールE＞を吹き付ける。
4. 消毒：ほじくりかえした木の傷に＜トップジンペースト＞をすり込む。



この殺虫剤の噴射ノズルは針のようになっていて3方向から溶液が噴射

[結 果]

50本のコスカシバ調査を行い、コスカシバ20数匹をつぶした。コスカシバのヤニは、樹高約2mの高さから地表までのところに多くあり、479箇所見つかった（詳細は別表）。ほとんどのコスカシバのヤニの箇所をつぶし、除去した。飛んでいる成虫も見つかっており、羽化しているものを含めると、昨年から一向に減っている様子はなく、むしろ、増加していることは間違いない。

ブロック別で見ると、北側（線路側）から南側にいくに従って、一本あたりのコスカシバ発生率は減少している。一番南側のブロックでは1本当たり約6箇所だが、一番北側のブロックでは、14箇所である。一番南側のブロックでは、樹齢80年になると思われる桜木があるが、古木だからといって必ずしもコスカシバが入り込むのではないことが分かる。

線路に近いほど桜木が衰弱しているのは、自動車の排気ガスによる影響が大きいのではないかと考えられる。

[観察のまとめ]

- ①キノコ、害虫、排気ガスによって弱っている木（樹勢の弱い木）にコスカシバの成虫が多く入り込むことが判った。
- ②一部羽化している抜け殻のような跡もある。見つけた幼虫は20匹以上であり、いずれも、丸々とした大きな幼虫となっていた。
- ③樹皮をめくったところに幼虫が見つかり、幹に入り込んでいるのも多くあった。

[今後の対策]

昨年、または一昨年仕込まれた幼虫が多く見つかった。また、幼虫から成虫への羽化は始まっている。既に成虫の交尾は行われ、成虫は卵を木に埋め込んでいると思われる。

成虫に対しては、飛んでいるコスカシバを捕まえる<トラップ>の準備をしたい。

次に、2回目の羽化のシーズンが8～9月であることを考え、コスカシバ退治をその時期に行うことを検討したい。

（佐藤信二郎 記）



桜診断一覧

診断指導：石井誠治樹木医

コスカシバ調査

調査日20070529 更 新20070529

樹木番号	区設定 コード	観察状況 による判定 [1(良)→4 (悪)]	対策	観察結果	コスカシバ 数
AB e 1	1	3	枝切り 2 箇所 駐車排ガス対策	東側枝にキノコ（ベッコウダケ） 葉つき悪し 道路側枝葉つき悪し	21
AB e 2	2	3	枝の切り戻し 根回りの改善 駐車排ガス対策	葉が小さい 半端な枝切りで腐れあり	25
AB w 1	50	3	道路側剪定の必要 車衝突対策	花芽つき悪い ベッコウダケ現状維持 車の擦過傷（8×10cm）	9
AB w 2	49	3	駐車排ガス対策	花芽不良 1.5m位置コフキサルノコシカケ成長している 幹は枝切りのため やや不良	23
AB w 3	48	2	剪定の必要		19
AB w 4	47	4	頻繁に観察必要 枝にひびあり ひ びの手前で枝切りした 他の枝も 剪定要 駐車排ガス対策	根の半分はぼろぼろに腐朽進行中 幹の中の50%以上は腐朽 新たにコフキサ ルノコシカケ 中心部分に10cmほどの元気な枝が頭上に伸びてきた これを生 かす枝切り要	8
AB w 5	46	1	コンクリ植枿内根の保護必要	成長良好な幹 樹齢15年位か 新たな根の盛り上がり有	5
AB w 6	45	2		胴巻きを外す 胴巻きの効果あり 生き生き成長 コブや不定根が大きく太く なっている 樹形が悪いが剪定で改善可能	4
AB w 7	44	2		胴巻きを外す 場所は良いので元気 隣の木との間隔が狭い 樹形が悪いが剪 定で改善可能	12
BC e 1	3	1		移植2007/2	0
BC e 2	4	1		オオシマ桜 若木で体力ある	1
BC e 3	5	1		若木 ナラタケモドキ要注意	1
BC e 4	6	2			1
BC e 5	7	1		壮年の木 問題なし	27
BC e 6	8	1		日当たりよく活力あり 不定根が成功 新たな擦傷あり	20
BC e 7	9	2	枝切り要	順調な回復 胴巻きを外す コブ増大し葉付き良し 樹形が悪い 枝が片方に拡 がり過ぎている	1
BC w 1	43	4	植えかえ候補 枝切りを促進させ 樹勢を回復する	幹腐朽進み息も絶え絶えの枝 コフキサルノコシカケ 2 箇所さらに進行	43
BC w 2	42	1		無駄枝多し 根元にキノコ発生	15
BC w 3	41	1		若木で体力ある ナラタケモドキに注意	9
BC w 4	40	1		若木 植え替えて 2 年 植え替え前の桜木倒木原因のナラタケに注意要する も幹太くなり順調に成長	0
BC w 5	39	1		家屋建設の影響要注意 コケ一面	27
BC w 6	38	1		胴巻き撤去後順調な成長 傷もほとんど癒えている 胴巻きの成功例 細根 マット状態から不要な細根が取れてきた 幹に変化しつつある	13
BC w 7	51	1		若木（2005/11移植） 順調に成長	0
CD e 1	10	2		2005/9/25胴巻き不要になり撤去 不定根の発達著しく健全に向かう 葉付き 良し 樹形悪い	2
CD e 2	11	1		樹間狭い	4
CD e 3	12	2	育つ環境をつくる	樹齢15年位か バランスが悪い	4
CD e 4	13	3	枝切り要	枝が横に広がりすぎ 葉薄い 葉少ない 建物による日当たり悪い 2006/10新 たにナラタケ発生	4
CD e 5	14	1	日当たり悪く要観察	若木	0
CD e 6	15	1	要観察 枝切り要	ナラタケモドキの害が過去にあったが若木で勢い増加 樹勢回復	4
CD e 7	16	4	要厳重観察 枝切り 2 箇所必要	胴巻き撤去後葉付き良く改善方向 キノコ多い 相当根が弱っている ナラ タケモドキが繁殖 枯れる可能性あり	9
CD e 8	17	1	要観察	若木	6
CD w 1	37	1	枝切り要	葉は多く 胴吹き芽多いが小さいので問題なし	15
CD w 2	36	2	枝切り要	根回りにアラゲカワラダケ	22
CD w 3	35	*		植えかえしない	6
CD w 4	34	1		不定根成功	17
CD w 5	33	*		植えかえしない	14
CD w 6	32	3	樹勢悪化の原因追求要	樹幹流のため地衣類枝の勢い小 葉の勢い悪い 根元にマンネンタケ 2006/8 毛虫発生 要注意	17
CD w 7	31	2	要観察	上部の葉少なく衰え有り 毛虫発生したが薬剤散布で消滅 要注意	0
CD w 8	30	3	樹勢悪化の原因追求要	樹勢に衰え幹分離部の入皮良好 葉は下が多く上は少ない	0
DE e 1	18	1		2005/9/25胴巻を撤去 健全	5
DE e 2	19	1		隣地の空き地化により環境良化し元気 根が植え枿を超えている	17
DE e 3	20	2	要観察	キノコ（ベッコウ？） 発生 回復中	8
DE e 4	21	1		2005/9/25胴巻を撤去 健全	5
DE e 5	22	1	要観察	新たにキノコ（ベッコウ？） 発生か 花芽付き悪い 評価は現状維持	8
DE w 1	29	3	当面枝切りを継続 要厳重観察	2006/1/28胴巻き撤去し枝切りを行った その後キノコの被害あるも葉付き良 し 回復の兆しあり 片側は樹形悪く風には弱い	2
DE w 2	28	3	養生継続中 水分補給に注意要 要 観察 パイプの上部切断要	2005/9/25胴巻を下半分撤去 経過順調 不定根養生中の根は太く成長	0
DE w 3	27	3	要観察	2006/10/1車両衝突により損傷 処置済み 経過良好	0
DE w 4	26	3	要観察	2006/10/1車両衝突により損傷 処置済み	6
DE w 5	25	3		自己再生の痕跡 初代並木の数少ない残存木 キノコ多い	11
DE w 6	24	1		紫色カビ 新しい根の成長あり	9
DE w 7	23	1		若木	0

* No. 35の間引きを行うが、代わりとして、ABブロック東側の植栽を提案する。

合計： 479